株主優待のご案内

3月31日現在で、100株以上所有の株主様に対し、

株主優待券(3割引券・5割引券)を年1回発行しております。

割引内容

下記レストランにて優待券1枚で5名様までのご飲食料金1回分を割引いたします。またはホテルトラスティ(一般ホテル)にて優待券1枚で1泊5ルームまでご宿泊料金を割引いたします。

割引対象施設

関東地区 イタリア料理「リストランテオッツィオ」(東京ベイコート倶楽部内)、 エクセレントクラブ新宿、ホテルトラスティ東京ベイサイド

中部地区 ローズルーム名古屋、ホテルトラスティ名古屋栄、ホテルトラス ティ名古屋

関西地区 ローズルーム大阪、エクセレントクラブ神戸(サンメンバーズ神戸内)、 ブルーノ・デル・ヴィーノ(ホテルトラスティ心斎橋内)、 カフェテラス&ビストロ・バー マークプレイス(ホテルトラスティ神戸旧居留地内)、 ホテルトラスティ心斎橋、ホテルトラスティ神戸旧居留地

- ※上記のほか、当社運営の下記リゾートホテル内レストランにてご利用頂けますが会員の利用状況により ご利用を承れない場合もございます。事前にご確認ください。
- ●エクシブ(16施設)/那須白河・山中湖・軽井沢・蓼科・箱根離宮・初島クラブ・伊豆・ 浜名湖・鳥羽&アネックス・琵琶湖・京都八瀬離宮・白浜&アネックス・淡路島・鳴門
- ●サンメンバーズ(7施設)/熱海・箱根・久美浜・別府・ひるがの・京都嵯峨・神戸
- ●東京ベイコート倶楽部メンバーの方、及びご宿泊者の方は、 メンバー専用レストラン「24 MEMBERS'DINING」でもご利用頂けます。

優待割引券発行基準

所有株式数	100株以上500株未満	1枚	(3割引券)
	500株以上1,000株未満	1枚	(5割引券)
	1,000株以上2,000株未満	2枚	(5割引券)
	2,000株以上3,000株未満	3枚	(5割引券)
	3,000株以上5,000株未満	4枚	(5割引券)
	5,000株以上10,000株未満	5枚	(5割引券)
	10,000株以上	10枚	(5割引券)

その他

- 1. 有効期限は翌年7月10日までです。
- 2. 定時株主総会終了後に発送しております。(株式関係書類に同封)
- ※当社株式の売買単元は100株です。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要がある場合には、予め公告をして基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
	みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付/	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
	0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	当社のホームページに掲載する。http://www.resorttrust.co.jp/
	※ただし、事故そのほかやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京·名古屋証券取引所 市場第1部
証券コード	4681

お手続きお問い合わせ先	〒168-8507東京都杉並区和泉二丁目8番4号
	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
	0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
	みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

【住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受け取り方法のご指 定、相続に伴うお手続等のお問い合わせ】

◆証券会社に口座を開設されている株主様

お手続きお問い合わせ先 お取引のある証券会社

◆特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	住友信託銀行株式会社	
お手続きお問い合わせ先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部	
お取扱店	住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店	
特別口座での留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社	

にお取引の口座を開設し株式の振替手続を行う必要がございます。









TO OUR SHAREHOLDERS

■株主の皆様へ





1

COO 伊藤 勝康

ごあいさつ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社グループへの日頃のご支援に心より御礼申し上げます。

国内経済は一部では回復基調にありながらも先行き不安 感は未だに根強く、本格的な景気回復には、なお時間を要 するものと思われます。当社グループはこの長期にわたる 景気停滞局面に対応するため、営業戦略の修正や内部コストの削減などに懸命に取り組んでおり、その結果、当中間 期は前年同期と比べて大幅な増収増益を達成することができました。さらに、このような環境下であっても、シニア 事業の拡大や新規リゾート物件の開発など、将来を見据えた投資には積極的な姿勢で臨んでおり、その効果も着実に 業績に反映されてきております。

我々は今後も「エクセレント・ホスピタリティ・グループ」 の実現に向け、気を緩めることなく、事業の一層の拡大と経 営のさらなる効率化に努めてまいります。今後とも引き続き 皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2010年12月

代表取締役会長 CEO(最高経営責任者)伊藤 與朗 代表取締役社長 COO(最高執行責任者)伊藤 勝康

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

高収益体質は確実に定着 今後の成長見据えた投資も着々と

会員権販売が好調で大幅な増収増益に

―― 当中間期の事業環境と業績についてお聞かせください。

環境としましてはリーマンショック以降の消費不況が今なお継続しており、景気回復への道のりは一進一退を繰り返している状況です。余暇市場においても、個人消費低迷の影響は未だに残っており、円高株安など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループでは、「東京ベイコート倶楽部」や「エクシブ有馬離宮」などの会員権販売が大変好調でした。期初予想をはるかに上回る販売状況のおかげで、10月には業績予想を上方修正させていただくことができました。主力である会員権事業の売上高が前年同期を46.9%上回る高い伸びとなったことがグループ全体の業績を底上げし、当中間期の連結売上高は前年同期比で18.6%増、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも大幅な増益となりました。リーマンショック後の落ち込みから回復を果たした2010年3月期の勢いが当中間期も継続しており、当社グループが高収益体質定着に向けて改善に取り組んできた結果が出てきております。

— 各事業セグメントの経営成績をご解説ください。

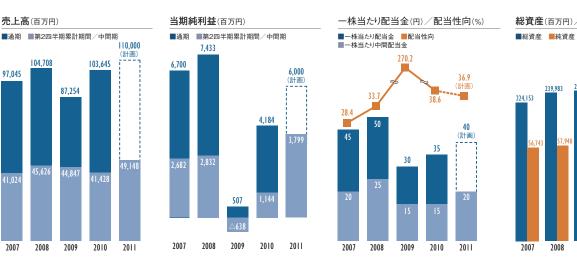
会員権事業では、2011年3月開業予定の「エクシブ有馬離宮」の販売がほぼ計画通り好調に推移しているほか、販売促進に注力した「東京ベイコート倶楽部」の契約進捗率も約8割に達しました。2010年3月に開業した「エクシブ箱根離宮」も好調で、現在のような厳しい事業環境の中でも、当社グループの抱える優良な物件には、確実に需要があることを再認識しております。

ホテルレストラン等事業では、「エクシブ箱根離宮」の通期稼働により、増収に寄与しました。消費不況の影響から当初計画にはわずかに届きませんでしたが、稼働率も回復傾向にあるほか、昨年来進めてきた人員配置の見直し、運営の合理化などの効果も着実に数字に表れており、現在の事業環境でも十分に利益の出せる体質が完成しております。ゴルフ事業も不況の影響を受けてはおりますが、前期を上回る利益をあげることができました。

メディカル事業では、6月1日付けで都内4つの介護付高級有料老人ホーム「トラストガーデン」が当社グループに加わるという大きな動きがあり、増収となりました。当事業については、今上半期から既に当初計画を上回る利益貢献をさせることができましたが、既存事業とのシナジーを図りつつ、今後さらに大きく成長させていく方針です。

「エクシブ有馬離宮」が2011年3月開業予定、 新規展開も相次ぐ

―― 下期の事業計画についてお聞かせください。



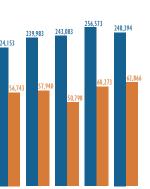
※予測に関する教値は、第2四半期決算発表日時点の見通しに基づくものです。経済環境の変化などにより、実際の業績が予測と異なる可能性があります。

上期の業績は「東京ベイコート倶楽部」の会員権販売が進んだことなどにより改善したのですが、下期に向けて依然先行き不透明感が広がっております。国内外に様々な不安要素が散見される現状では、個人消費の大幅な回復は困難で、リゾート需要がすぐに盛り上がることは期待しにくいでしょう。このような観点から、下期の業績予想につきましては上期よりも慎重に見ております。

会員権事業では、3月に開業する「エクシブ有馬離宮」などの会員権販売に引き続き注力してまいります。また、9月には軽井沢で2つの会員制リゾートホテル「(仮称) エクシブ軽井沢アネックス」「(仮称) エクシブ軽井沢サンクチュアリ・ヴィラアネックス」の新設工事に着手したほか、神戸の六甲でも新たに会員制リゾートホテルの用地を新たに取得しました。これら新規物件の収益貢献は来期以降になる見通しですが、準備は着々と進んでおります。

ホテルレストラン等事業、ゴルフ事業では引き続き、稼働率 向上に向けた集客活動を展開するほか、一層の合理化を実現し て高収益体制を確立してまいります。メディカル事業では、先 ほどご紹介した「トラストガーデン」のスムーズな立ち上げに

総資産(百万円)/純資産(百万円)



TOP INTERVIEW

注力するとともに、既存事業の強化を図ってまいります。

新たな成長の柱を確立し、さらに豊かな余暇生活を実現

―― 中長期的な事業計画や成長ビジョンについてお聞かせください。

当社グループは現在、「既存事業の強化」「新規事業の成長」「顧 客ターゲットの拡大 | を柱とした中期5ヵ年グループ経営計画 [エ クセレント・ホスピタリティ計画 に取り組んでおります。計画 策定直後に発生したリーマンショックの影響から、数値目標は 凍結致しましたが、前期および当中間期における業績の急速な 回復は、当計画で掲げた経営戦略が正しかったことを証明して いるものと自負しております。

今後の主要戦略をご説明しますと、まず主力の会員権事業で は、高い付加価値を備えた物件の開発が当社グループにとって最 大の推進力であることに変わりはありません。すでに事業化に入 った軽井沢に続き、立地や内外装などにこだわった高級感あふれ るリゾート施設の開発に積極的に取り組んでまいります。一方で、 顧客ターゲットの拡大に向けた取り組みとして、従来よりもお求 めいただきやすい価格帯の商品を投入するなど若年層の会員獲得



にも注力してまいります。また、より収益性の高い事業構造に改 善していくことも目指してまいります。

シニアマーケットの攻略も重要な課題です。今年3月には「東京 ミッドタウンメディカルセンター」内に自己免疫細胞を使ったがん 治療を行う「先端医療研究所」を設立、6月には「トラストガーデン 株式会社 | を傘下に収めました。現在はこうした取り組みを通じて、 シニアマーケット、メディカル市場に対する実績を積み重ねており ます。先進的な医療サービス、質の高い介護サービスを提供するこ とは、まさに「エクセレント・ホスピタリティ」の具現化ですから、 当社グループの持てる力を最大限に発揮し、他事業との強い連携 を図りながら事業規模の拡大にますます力を注いでまいります。

このほか中長期的には、海外市場への進出も大きなテーマで あると考えております。海外で当社のサービスを提供する事業を 立ち上げることは、様々な状況を想定して検討する必要があり ますので、事業化には慎重を期さねばなりませんが、昨今の円 高を活用したM&Aなどによる展開も視野に入れ、良い案件が あれば、前向きに検討していきたいと考えております。

株主の皆様へのメッセージをお願いします。

先の見通せない厳しい経済情勢が今なお継続しております。 国内景況の本格的な回復を期待する一方、当社グループは現在 の景況に対応するための経営体質の改善にいそしみ、前期、当 中間期と、着実に業績を回復させてまいりました。

おかげさまで当社グループは、本年11月をもちまして東証・ 名証一部上場10周年を迎えることができました。今後も当社グ ループは最上のホスピタリティを提供する「エクセレント・ホス ピタリティ・グループ | の実現を目指し、経営のさらなる安定化 を図るとともに、長期にわたって堅実に成長を続けられる企業体 質の構築を目指してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも当社グルー プへのご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

シリーズ企画 メディカル事業の取り組みの

16年の歴史と実績、 進化する「グランドハイメディック倶楽部

世界のがん検診のスタンダードを確立

当社グループのメディカル事業の中核となる「グランドハイメ ディック倶楽部 は16年前の1994年、「エクシブ山中湖 ト内に開 設した「ハイメディック山中湖」よりスタートしています。

同施設は世界に先駆けPETによる画像診断を取り入れており、 わずか6mmの乳がんを検診により発見する等、2cm以下のがん の発見は困難とされた当時の検診精度の常識をくつがえしまし た。PETに限らず、MRI、CTなどの先進機器による画像診断を 複合的に取り入れた、この総合がん検診の方法は「山中湖方式」

と呼ばれ、その後のがん検診の世 界のスタンダードとなりました。



【主な学会等実績】

2000年12月 第7回クリニカルペット賞(H・Wagner賞)受賞 2003年 6月 米国核医学会教育講演 2004年 4月 日本核医学会専門教育病院に認定

2007年 4月 第66回 日本医学放射線学会総会 「FDG-PETがん検診の成績」発表

確かな実績を基盤に拠点を拡大

がん検診のパイオニアとして先端機器を導入し、一般の検診を大 きく超える約100もの検査項目を実施。専任の放射線科医による高

11.979名 ハイメディック・東大病院 5,169名 総合計

※2010年7月末現在

精度の読影技術により、がん発見率は ハイメディック山中湖 43,460名 一般の人間ドックの約13倍を誇ってい

> ます。また、ニーズの高まりに応えるべ **60.608**名 く、検診施設を大阪、東大病院内にも

設置し、全3拠点へと拡大。これまでの検診者総数は約6万名と、 PETを用いた検診としては他に類をみない実績をもっています。

【検診によるがん発見率】

ハイメディックの **3.16**% がん発見率

多角化する「予防医療」への新たな挑戦

これら高精度検診における実績が世界的に評価され、「グランド ハイメディック倶楽部 を中核とするメディカル事業は、新たな領



域への取り組みを進め ております。まず、近 年日本でも新たな産業 として取り組み始めて いる医療ツーリズムにおいて、アジア、主には中国の富裕層の先 端予防医療を求める声に応えるべく、当社グループならではの質 の高い医療サービス提供に取り組みます。また、女性向けの検診 コースや高齢者向けの検診コース・老化防止プログラムの開発な ど、多角化する「予防医療」におけるニーズにもしっかり応えられ る「トータルメディカルサポート倶楽部」へと進化していきます。

会員権事業 Membership business 東京、名古屋、大阪に近く利便性の高い、高級会員制リゾートホテルの開発と会員権販売を行っております。

売上高構成比



14,126百万円(前年同期比 46.9%↑)

2.658百万円(前年同期比 3.049.4% ↑)

会員権事業におきましては、「東京ベイコート倶楽部」の会員権販売が 好調に推移したことなどにより増収増益となりました。

2011年3月 待望の「エクシブ有馬離宮」がオープン



関西の奥座敷と称される、雄大な六甲山に抱かれた日本 最古の温泉地有馬に、2011年3月、離宮シリーズ第三弾と なる「エクシブ有馬離宮」が誕生致します。レストランでは、 瀬戸内の新鮮な魚、丹波の山の幸など、有馬ならではの贅 をご堪能いただけます。深い山の中、谷間に向かって開け た天空の露天風呂で癒された後は、風情ある町並みや四季 折々の自然を訪ねてみるのも楽しみのひとつです。

軽井沢2物件 新築工事に着手

「エクシブ軽井沢」と「エクシブ軽井沢サンクチュアリ・ヴ ィラ の隣接地に新たに2つのリゾート施設が誕生致します。 2012年春頃の開業を目指し、新築工事に着手致しました。

兵庫県六甲山に土地を取得

このたび、関西圏における会員制リゾートホテル用地とし て兵庫県六甲山に土地を取得致しました。

ホテルレストラン等事業 Hotel & Restaurant 本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストラン運営などを行っております。



売上高 **26.813**百万円(前年同期比 8.6%↑)

3.065 百万円(前年同期比 38.8%↑)

ホテルレストラン等事業におきましては、前期(平成22年3月22日)に 開業した高級会員制リゾートホテル「エクシブ箱根離宮」が通期稼働 し、その運営収益や年会費等が収益貢献したことなどにより増収増 益となりました。

コンプレックス・ビズが台湾に進出



当社子会社で、ヘアアクセサリーの人気ブラン ド「コンプレックス・ビズ」が、今年の秋、台湾の 中心都市、台北の百貨店内に3店舗オープン致し ました。台湾の若年層やエグゼクティブにとって、 日本はファッションリーダー国であり、現地からの 強い要望に応えての台湾進出です。今後もさらに 台湾市場での販売網拡大を進めてまいります。

エクシブ農園で手作り野菜を栽培

当社では、地産地消やフードマイレージ等の環境活動の取り組み のひとつとして、ホテルの敷地や近隣に「エクシブ農園」を設け、ス

タッフによる野菜作りを行っています。収 穫した野菜はレストランの食材として提供 し、お客様からも「美味しい」と好評です。 今後も自然との触れ合いの場としてエク シブ農園の活動を充実させてまいります。



売上高構成比



4.099百万円(前年同期比 0.5%↓)

313 百万円 (前年同期比 21.6% ↑) 営業利益

ゴルフ事業におきましては、ゴルフ場の稼働が減少

男子プロゴルフツアートーナメントが開催決定

2011年5月16日(月)から22日(日)に開催する、JGTO(日本ゴルフツアー機構) 公認の男子プロゴルフツアートーナメント [とおとうみ浜松オープン] の開催コースが、 当社の「グランディ浜名湖ゴルフクラブ」に決定致しました。「とおとうみ浜松オー プン|は従来にない新たな試みとして"みんなでつくるゴルフトーナメント"を合言 葉に、地域市民や地元企業を中心として企画・運営を行いトーナメントが作られる、 「地元のお祭り」という要素をもったトーナメントとして開催されます。また、トーナメ ント期間中に「エクシブ浜名湖」ご宿泊のお客様は、無料で観戦いただけます。

- 大会名称:とおとうみ浜松オープン ~みんなでつくるゴルフトーナメント~
- 開催期間:2011年5月16日(月)~22日(日) ※チケット販売は2010 年11月1日に開始
- 会 場:グランディ浜名湖ゴルフクラブ
- 主 催:合同会社ボランタリートーナメント浜松(V.T.H.)
- 賞金総額:1億円

実施概要につきましては、下記の大会ホームページをご覧下さい。 「とおとうみ浜松オープン」ホームページ http://www.totoumi.net/

- 三年 | 日本日

メディカル・その他事業 Medical, Others 高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業です。

売上高構成比



メディカル 売 上 高 **3,984**百万円(前年同期比 **38.8**% ↑) 312百万円(前年同期比 129.9%↑)

売上高 124百万円(前年同期比 6.8%↓) 営業利益 81百万円(前年同期比 26.1%↓)

シニアレジデンス事業子会社3社を連結化

当期より、シニアレジデンス事業を営む子会社、㈱ウェル・トラスト、 ヒューマンライフサービス(株)、トラストガーデン(株)の3社を連結化し、シニ アレジデンス事業に本格的に踏み出しました。特に6月に取得した、介護 付高級有料老人ホーム「トラストガーデン(杉並宮前、南平台、桜新町、 用賀の村) | の4施設が好調で、当社の品質やコンセプトをご理解されてい る会員様からもお問い合わせを多数いただいております。

メディカル事業におきましては、当期よりシニアレジデンス事業を営む 子会社3社(㈱ウェル・トラスト、ヒューマンライフサービス㈱、トラスト ガーデン(株) を連結化したことなどにより増収増益となりました。 その他事業におきましては、賃貸料収入の減少などにより減収減益とな りました。

お問い合わせ・資料のご請求

■トラストガーデン株式会社 (東京都)

トラストガーデン杉並宮前 500.0120-678-503 トラストガーデン南平台 00.0120-678-513 トラストガーデン桜新町 00.0120-678-713 トラストガーデン用賀の杜 0120-678-613

■ 株式会社ウェル・トラスト (東京都) クラシックガーデン文京根津 60.0120-650-142

■ ヒューマンライフサービス株式会社(愛知県名古屋市)

モーニングパーク主税町 20120-00-4165

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

四半期連結貸借対照表

単位:百万円

当第2四半期 連結会計期間末 2010年9月30日現在 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2010年3月31日現在 資産の部 111,170 120,546 固定資産 137,224 136,027 有形固定資産 104,650 102,417 無形固定資産 3,814 3,723 投資その他の資産 28,759 29,886 資産合計 248,394 256,573 負債の部 53,215 65,480 固定負債 132,312 130,820 負債合計 185,527 196,300 純資産の部 株主資本 55,729 52,976 資本金 14,258 14,258 資本和余金 13,906 13,906 利益剰余金 36,609 33,877 自己株式 △9,045 △9,066 評価・換算差額等 △23 257 新株予約権 362 189 少数株主持分 6,799 6,849 純資産合計 62,866 60,273 負債・純資産合計 248,394 256,573			キロ・ロカ11
 流動資産 111,170 120,546 固定資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他の資産 28,759 29,886 資産合計 248,394 256,573 負債の部 流動負債 132,312 130,820 負債合計 185,527 196,300 純資産の部 株主資本 資本金 14,258 14,258 資本剰余金 利益剰余金 利益剰余金 13,906 利3,906 利3,906 利3,906 利3,906 利3,906 利3,906 新介906 評価・換算差額等 △23 257 新株予約権 362 189 少数株主持分 6,799 6,849 純資産合計 62,866 60,273 		連結会計期間末	要約連結貸借対照表
固定資産 有形固定資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他の資産 137,224 104,650 3,814 3,723 投資その他の資産 102,417 29,886 29,886 29,886 29,886 29,886 20,875 29,886 20,873 20,820 20,880 20,820 20,880 20,820 20,880 20,820 20,880 20,	資産の部		
有形固定資産 104,650 102,417 無形固定資産 3,814 3,723 投資その他の資産 28,759 29,886 資産合計 248,394 256,573 負債の部 流動負債 53,215 65,480 固定負債 132,312 130,820 負債合計 185,527 196,300 純資産の部 株主資本 55,729 52,976 資本金 14,258 14,258 資本剰余金 13,906 13,906 利益剰余金 36,609 33,877 自己株式 △9,045 △9,066 評価・換算差額等 △23 257 新株予約権 362 189 少数株主持分 6,799 6,849 純資産合計 62,866 60,273	流動資産	111,170	120,546
無形固定資産 3,814 3,723 投資その他の資産 28,759 29,886 資産合計 248,394 256,573 負債の部 53,215 65,480 固定負債 132,312 130,820 負債合計 185,527 196,300 純資産の部 株主資本 55,729 52,976 資本金 14,258 14,258 資本剰余金 13,906 13,906 利益剰余金 36,609 33,877 自己株式 △9,045 △9,066 評価・換算差額等 △23 257 新株予約権 362 189 少数株主持分 6,799 6,849 純資産合計 62,866 60,273	固定資産	137,224	136,027
投資その他の資産28,75929,886資産合計248,394256,573負債の部53,21565,480固定負債132,312130,820負債合計185,527196,300純資産の部55,72952,976資本金14,25814,258資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	有形固定資産	104,650	102,417
資産合計248,394256,573負債の部53,21565,480適定負債132,312130,820負債合計185,527196,300純資産の部****株主資本55,72952,976資本金14,25814,258資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	無形固定資産	3,814	3,723
負債の部53,21565,480協定負債132,312130,820負債合計185,527196,300純資産の部****株主資本55,72952,976資本金14,25814,258資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	投資その他の資産	28,759	29,886
 流動負債 53,215 65,480 固定負債 132,312 130,820 負債合計 185,527 196,300 純資産の部 株主資本 資本金 14,258 資本剰余金 13,906 13,906 利益剰余金 13,906 13,906 利益利余金 13,906 13,906 13,906 計3,906 13,906 計3,906 13,906 13,00 13,00	資産合計	248,394	256,573
固定負債132,312130,820負債合計185,527196,300純資産の部**55,72952,976資本金14,25814,258資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	負債の部		
負債合計185,527196,300純資産の部55,72952,976資本金14,25814,258資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	流動負債	53,215	65,480
純資産の部55,72952,976資本金14,25814,258資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	固定負債	132,312	130,820
株主資本55,72952,976資本金14,25814,258資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	負債合計	185,527	196,300
資本金14,25814,258資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	純資産の部		
資本剰余金13,90613,906利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	株主資本	55,729	52,976
利益剰余金36,60933,877自己株式△9,045△9,066評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	資本金	14,258	14,258
自己株式 △9,045 △9,066 評価・換算差額等 △23 257 新株予約権 362 189 少数株主持分 6,799 6,849 純資産合計 62,866 60,273	資本剰余金	13,906	13,906
評価・換算差額等△23257新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	利益剰余金	36,609	33,877
新株予約権362189少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	自己株式	△9,045	△9,066
少数株主持分6,7996,849純資産合計62,86660,273	評価・換算差額等	△23	257
純資産合計 62,866 60,273	新株予約権	362	189
, ,	少数株主持分	6,799	6,849
負債・純資産合計 248,394 256,573	純資産合計	62,866	60,273
	負債・純資産合計	248,394	256,573

四半期連結損益計算書

単位:百万円

		+H H7713
	当第2四半期連結累計期間 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで
売上高	49,148	41,428
売上原価	9,348	7,707
売上総利益	39,799	33,720
販売費及び一般管理費	33,367	30,923
営業利益	6,431	2,797
営業外収益合計	314	324
営業外費用合計	350	366
経常利益	6,395	2,755
特別利益合計	359	5
特別損失合計	233	339
税金等調整前四半期純利益	6,521	2,422
法人税、住民税及び事業税	2,088	1,838
法人税等調整額	694	△555
法人税等合計	2,782	1,282
少数株主損失 (△)	△59	△5
四半期純利益	3,799	1,144

四半期連結決算の概要

総資産は、前連結会計年度末に比べ、メディ カル事業子会社3社の新規連結により総資産が 増加した一方で、借入金の返済などに伴い現金 及び預金や有価証券などが減少したことにより、 248.394百万円(前連結会計年度比8.179 百万円の減少)となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、短期借 入金や未払法人税等の減少などにより、185.527 百万円(前連結会計年度比10,772百万円の減 少) となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加などにより、 62,866百万円(前連結会計年度比2,593百万円の増加)となりました。その結果、 当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は 22.4% (前連結会計年 度比1.7ポイント増)となりました。

会員権販売が好調であったこと、前期末に開業を迎えた高級会員制リゾートホテル 「エクシブ箱根離宮」が通期稼働したことなどにより、第2四半期連結累計期間の 売上高は49,148百万円(前年同期比18.6%増)、営業利益は6,431百万円(前 年同期比129.9%増)、経常利益は6,395百万円(前年同期比132.1%増)、四 半期純利益は3,799百万円(前年同期比232.0%増)と、増収増益となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円

		キロ・ロカ1
	当第2四半期連結累計期間 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4	8,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,365	△2,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,451	3,940
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 7,812	9,472
現金及び現金同等物の期首残高	31,592	17,060
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	821	59
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,601	26,592

当第2四半期連結累計期間における、営業活動による現金及び現金

営業活動によるキャッシュ・フロー

同等物(以下、「資金」という。)は4百万円の増加となりました。これ は主に、税金等調整前四半期純利益が前期比4.099百万円増加し 6.521百万円となったものの、法人税等の支払が5.559百万円あった ことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における、投資活動による資金は1.365 百万円の減少となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取 得による2.855百万円の支出などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における、財務活動による資金は、6.451 百万円の減少となりました。これは長期借入金の返済5.891百万円な どによるものです。

IR TOPICS

IRトピックス

個人投資家向け説明会に参加

当社では、株主・個人投資家向けのIR活動の充実を目指しています。 2010年7月9日には、新宿明治安田生命ホールで行われた個人投資家向け

の合同説明会に参加しました。



当社社長 伊藤勝康の講演

当日は代表取締役社長の伊藤勝康より、ビジネ スモデルや基本戦略、メディカル事業の現状等に つき説明しました。約200名の投資家の皆様にご 参加いただき、熱心なご質問・貴重なご意見をい ただきました。

当社は今後も継続的に株主・個人投資家向けIR 活動に取り組んでまいります。

下期の個人投資家向けIRイベント

①大和IRコンファレンス(大阪) 大和インベスター・リレーションズ株式会社 主催

2010年12月11日(土) 会場:シティプラザ大阪

②名証IRセミナーin東京 株式会社名古屋証券取引所 主催

2011年3月4日(金) 場所:東京証券会館8階ホール

CORPORATE DATA

● 会 社 概 要 (2010年9月30日現在)

会社概要

会社名	リゾートトラスト株式会社(Resorttrust, Inc.)
創業	1973年4月
本社所在地	〒460-8490 名古屋市中区東桜二丁目18番31号 TEL(052)933-6000(大代)
資本金	142億5,811万円
事業内容	会員権事業、ホテルレストラン等事業、メディカル事業、 ゴルフ事業、その他事業
従業員数	4,435名(連結)
事業所	東京本社 〒151-0053 東京都渋谷区代々木四丁目36番19号 リゾートトラスト東京ビル TEL(03)6731-0001(代)
	大阪支社 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満四丁目15番18号 プラザ梅新2・3F TEL (06) 6315-8686 (代)
	横浜支社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目19番1号 LIVMO ライジングビル3F TEL (045) 477-5251

HPアドレス http://www.resorttrust.co.ip/

車結子会社一覧	
(株)ジェス	(株)CICS
(株)サンホテルエージェント	(株)メイプルポイントゴルフクラブ
アール・シー・アイ・ジャパン(株)	(株)オークモントゴルフクラブ
(株)コンプレックス・ビズ・インターナショナル	(株)ウェル・トラスト
第一アドシステム(株)	ヒューマンライフサービス(株)
ノゾートトラストゴルフ事業(株)	トラストガーデン(株)
(株)ハイメディック	
(株)東京ミッドタウンメディスン	
アール・ティー開発(株)	
ジャストファイナンス(株)	
ベストクレジット(株)	
アール・エフ・エス(株)	

役員

代表取締役会長	伊藤	與朗 CEO	(最高経営責任者	旨)	
代表取締役社長	伊藤	勝康 COO	(最高執行責任	者)	
専務取締役	高浪	宣昭	取締役	髙木	直
専務取締役	江幡	幸久	取締役	伏見	有貴
専務取締役	河﨑	信彦			
専務取締役	伊藤	正昭	監査役	川瀬	隆生
常務取締役	内山	敏彦	監査役	谷口	嘉孝
常務取締役	新谷	敦之	監査役	相羽	洋一
常務取締役	林戸	里巳	監査役	赤堀	聰

株式の状況

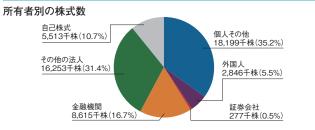
■発行可能株式総数	150,000,000株
■発行済株式の総数	51,705,748株
■株主数	16,594名

■大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率
(株)宝塚コーポレーション	6,709	13.0
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)[信託口]	2,690	5.2
(株)ジーアイ	1,780	3.4
(有)ケー・アイ・コーポレーション	1,728	3.3
サッポロビール(株)	1,675	3.2
伊藤與朗	1,651	3.2
日本マスタートラスト信託銀行(株)[信託口]	1,196	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)[信託口4]	856	1.7
住友生命保険相互会社	777	1.5
リゾートトラスト社員持株会	766	1.5

*上記の他、当社が保有している自己株式が5.513千株(10.7%)あります。

株式分布状況



■エクシブ

リゾートラインナップ



RESORT LINE-UP

グランドエクシブ那須白河

〒961-8091 福島県西白河郡西郷村大字熊倉字雀子山3 〒391-0301 長野県茅野市蓼科高原北山4035 TEL. 0248-25-8111(代)

グランドエクシブ軽井沢

〒389-0115 長野県北佐久郡軽井沢町大字追分字東かじか沢23-1 TEL, 0267-46-3331(代)

グランドエクシブ初島クラブ

〒413-0004 静岡県熱海市初鳥800 TEL. 0557-67-3000(代)

グランドエクシブ浜名湖

〒431-1207 静岡県浜松市西区村櫛町字志津ノ前4620 TEL. 053-488-0111(代)

グランドエクシブ鳴門

〒771-0376 徳島県鳴門市北灘町折野字上三津167-3 〒517-0021 三重県鳥羽市安楽島町字二地169-2 TEL. 088-683-8111(代)

エクシブ山中湖

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野562-12 TEL. 0555-65-9000(代)

エクシブ山中湖サンクチュアリ・ヴィラ エクシブ京都 八瀬離宮

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野562-15 TEL, 0555-65-9000(代)

エクシブ蓼科

TEL. 0266-71-8111(代)

エクシブ箱根離宮

〒250-0404 神奈川県足柄下郡箱根町宮ノ下112-2 TEL, 0460-85-0111(代)

エクシブ伊豆

〒413-0231 静岡県伊東市富戸1317-5243 TEL. 0557-51-0001(代)

エクシブ鳥羽

〒517-0021 三重県鳥羽市安楽島町字二ヱ212-1 TEL, 0599-26-4411(代)

エクシブ鳥羽アネックス

TEL. 0599-26-4400(代)

エクシブ琵琶湖

〒521-0004 滋賀県米原市磯1477-2 TEL. 0749-52-6111(代)

〒601-1254 京都市左京区八瀬野瀬町74-1 TEL. 075-707-2888(代)

エクシブ白浜

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野字西山1670-76 TEL. 0739-42-2522(代)

エクシブ白浜アネックス

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野字西山1670-44 TEL, 0739-43-0101(代)

エクシブ淡路島

〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷字古茂江1275-3 TEL. 0799-23-3300(代)

エクシブ有馬離宮

〒651-1401 神戸市北区有馬町字ウツギ谷1662-12他 2011年3月OPEN予定

●ベイコート倶楽部



東京ベイコート倶楽部 〒135-0063 東京都江東区有明3-1-15 TEL. 03-6700-1111(代)

●リゾーピア

リゾーピア箱根

〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1320-1239 TEL. 0460-82-0011(代)

リゾーピア熱海

〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13-93 TEL. 0557-83-5959(代)

リゾーピア久美浜

〒629-3422 京都府京丹後市久美浜町湊宮1302-2 TEL. 0772-83-1380(代)

リゾーピア別府

〒874-0831 大分県別府市堀田7組の1 TEL. 0977-25-2111(代)

●サンメンバーズ

サンメンバーズひるがの

〒501-5301 岐阜県郡上市高鷲町ひるがの4670-362 TEL. 0575-73-2221(代)

サンメンバーズ京都嵯峨

〒616-8304 京都府京都市右京区嵯峨広沢南野町27-1 TEL. 075-882-8771(代)

サンメンバーズ東京新宿

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-5-13 TEL. 03-3349-8601(代)

サンメンバーズ東京新橋

〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-5(レック御成門内) エクセレントクラブ ローズルーム大阪 TEL, 03-3431-1411(代)

サンメンバーズ名古屋白川

〒460-0008 名古屋市中区栄2-7-13(ヴィア白川内) TEL, 052-221-7931(代)

サンメンバーズ名古屋錦

〒460-0003 名古屋市中区錦3-13-30(サンホテル名古屋内) TEL. 052-971-2781(代)

サンメンバーズ大阪梅田

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-18(プラザ梅新内) TEL. 06-6365-7281(代)

サンメンバーズ神戸

〒651-0056 兵庫県神戸市中央区熊内町4-13-21 TEL. 078-251-1381(代)

サンメンバーズ鹿児島

〒892-0824 鹿児島市堀江町19-14(ホテルサンフレックス鹿児島内) TEL. 099-225-5511(代)

●サロン・レストラン

エクセレントクラブ新宿

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-5-13 サンメンバーズ東京新宿内 TEL. 03-3349-0530

エクセレントクラブ ローズルーム名古屋 〒460-0008 名古屋市中区栄2-7-13ヴィア白川2F

TEL. 052-203-5931

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1-1-16 クリスタルコートビル2F

TEL. 06-6345-7337

エクセレントクラブ神戸

〒651-0056 神戸市中央区熊内町4-13-21 サンメンバーズ神戸9F TEL. 078-251-1381

●ホテルトラスティ



ホテルトラスティ東京ベイサイド 〒135-0063 東京都江東区有明3-1-15 TEL. 03-6700-0001(代)

ホテルトラスティ名古屋 栄

〒460-0003 名古屋市中区錦3-15-21 TEL. 052-968-5111(代)

ホテルトラスティ名古屋

〒460-0003 名古屋市中区錦2-11-32 TEL. 052-221-5511(代)

ホテルトラスティ心斎橋

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-3-17 TEL. 06-6244-9711(代)

ホテルトラスティ神戸 旧居留地

〒650-0035 神戸市中央区浪花町63 TEL. 078-330-9111(代)